

指定管理施設事業評価票(平成29年度分)

1. 施設所管課 観光部 藤原観光課

2. 指定管理施設概要

Table with 2 columns: 施設名, 名称, 所在地, 指定管理者, 名称, 代表者名, 住所, 指定期間, 平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日, 5年間, 選定方法, 公募, 評価実施年, 5年間のうち4年目, 施設設置目的, 快適で個性豊かなむらづくりを推進し、山村地域の特性を活かした地域活動を促進することを目的とする。主な実施事業, キャンプ場、及び宿泊事業

3. 利用状況(目標と実績)

Table with 12 columns: 成果指標, 単位, 平成26年度(目標, 実績), 平成27年度(目標, 実績), 平成28年度(目標, 実績), 平成29年度(目標, 実績), 平成30年度(目標, 実績). Rows include ケビン, 野外調理施設, テントサイト, そば打ち体験道場.

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

Table with 6 columns: 区分, 平成26年度, 平成27年度, 平成28年度, 平成29年度, 平成30年度. Rows include 収入計, 指定管理料, 利用料収入, 自主事業収入, 支出計, 指定事業費, 内人件費, 内外委託費, 自主事業費, 事業収支, 人件費率, 外部委託比率.

※着色セルは、自動計算としている。

Table with 2 columns: 補足説明, (empty rows for additional notes)

サービス改善の状況

・四季折々の風景や施設の写真を撮影し、インターネットなどに反映させていった。  
・ケビンは、少しずつ清掃や修繕、定期的なふとん乾燥。また、こたつや布団乾燥機の設置や内装も1棟ずつ変えていっており、清潔感などにおいて高い評価が得られるようになった。  
・野外調理施設は、ケビン利用者が主に利用することが多いが、施設がケビンから離れていること・景観が優れないことから少し伸び悩んでいる印象がある。(ケビンの隣でBBQをしたいお客さんが多い)最終年度、食材コース付プランも充実させたので、今後の経過をみたい。  
・テントサイトは、インターネットでの予約システムを整えたのと、駅チカキャンプ場ということで雑誌に取り上げられたこともあり、徐々に利用客が増えてきた。  
・トイレや水場の整備は最低限整え、周辺のキャンプ場との差別化を図るため、管理されすぎないキャンプ場を目指している。そば打ち体験は、周辺に受け身の遊び場が少ないことから一定の需要がある。繁忙期にも対応できる体制を整えていきたい。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
管理記録	協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B	
	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A	
連絡調整	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B	
	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B	
緊急対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B	
	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
総括	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	C	C	
	避難経路が適切に確保されている。	B	B	
総括		「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	A	A
	事業運営	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
	維持管理	施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	A
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
	環境配慮	仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。		B	B	
広報活動	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B	
	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
苦情等対応	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A	
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B	
利用者アンケート	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	A	
総括	利用状況	利用実績は、目標水準である。	A	A
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
総括		「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価) 緊急時対応等の研修など行っていない。			
	(所管課評価) 新たにインターネットによる予約システムを活用し、利便者の向上を図った。 危機管理については、不慣れがところが見受けられる。有事の際、地元消防団との連携を図られたい。			
別添付資料 評価		C	総合評価 ※3段階評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上		
	B(良好) = A、C以外		
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		